

| | | | | | | | |
|--|---|-----|------|---------|------------------|-----------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | マリンスポーツⅡ (CG206) | | | 担当教員 | 熊谷 賢哉 | | |
| 展開方法 | 実技 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 2年・集中 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| スキューバダイビングのCカード(認定証)を取得し、アドバンスドオープンウォーター(AOW)ダイバーになることを目標とする。また、Cカードの取得課程において、海の自然やそこにすむ生き物に実際に触れることで、海の楽しさ、海の素晴らしさ、海の大切さを実感する。 | | | | | | | ①②① |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | オープンウォーター(AOW)ダイバー認定を取得する。スキューバダイビングを楽しむために必要不可欠な技術(中性浮力、ディープダイブ、ナビゲーション)を習得する。 | | | | テキスト課題 実技認定試験 | 5% 30% | |
| 情報収集、分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | グループ内の友人とのコミュニケーションを図る。グループ内の今まで交流がなかった受講生とコミュニケーションを図る。 | | | | 授業態度・授業への参加度 | 10% | |
| 協働・課題解決力 | スキューバダイビングのCカード(認定証)を取得するために、バディやグループ内の他の学生とコミュニケーションを密にし、役割分担をして協働できる。 | | | | 授業態度・授業への参加度 | 40% | |
| 多様性理解力 | 集団生活を通して、豊かな人間関係、社会性を築くことができる。自然への興味や関心を高めることができる。 | | | | 授業態度・授業への参加度 | 5% 5% | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>授業態度・授業への参加度を通して、他学生とのコミュニケーション力(10%)や協働・解決力(40%)を評価基準すると共に、予習(テキスト課題:5%)や実技認定試験を含めた実技講習(30%)を通し、AOWダイバーに必要な技能、知識を身につけているかを評価する(35%)。また、集団生活を通して豊かな人間関係や社会性を築けたか(5%)や、自然への興味や関心を高められたか(5%)、についても、授業態度・授業への参加度を通して評価基準とする。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>深い場所を安全に潜るための「ディープダイブ」や、海外リゾート等でセルフダイブするための「ナビゲーション」、そして中性浮力や水中写真の練習など多種多様なダイブを選択して経験することで、リゾート地でのファンダイビングにおいて必須となるアドバンスドオープンウォーター(AOW)ダイバー認定の取得を目指す。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：『PADI アドベンチャーインダイビングマニュアル』(講習初日に配付)</p> <p>参考書：特に指定しない</p> <p>指定図書：『PADI アドベンチャーインダイビングマニュアル』(講習初日に配付)</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 運動能力は問わず。すべての授業に参加し、資格取得に積極的な人を歓迎。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|-----------------|---|--|
| 1 | オリエンテーション | 授業の内容・展開方法に関する説明 | 予習：シラバスに目を通しておく |
| 2 | OW ダイバーコース復習（1） | ①水中世界、②ダイビングの環境、③ダイビング機材 | 予習：テキスト（水中世界、ダイビングの環境、ダイビング機材）に目を通しておく。 復習：水中世界、ダイビングの環境、ダイビング機材について把握する。 |
| 3 | OW ダイバーコース復習（2） | ①スクーバシステム、②バディシステム、③潜水計画 | 予習：テキスト（スクーバシステム、バディシステム、潜水計画）に目を通しておく。 復習：スクーバシステム、バディシステム、潜水計画について把握する。 |
| 4 | OW ダイバーコース復習（3） | ①ダイブテーブルとダイブコンピュータ、②コンパスナビゲーション、③安全潜水実施要領 | 予習：テキスト（ダイブテーブル、ダイブコンピュータ、コンパスナビゲーション、安全潜水実施要領）に目を通しておく。 復習：ダイブテーブル、ダイブコンピュータ、コンパスナビゲーション、安全潜水実施要領について把握する。 |
| 5 | 学科（1） | 中性浮力ダイブについて | 予習：テキスト（中性浮力ダイブ）に目を通しておく。 復習：中性浮力ダイブについて把握する。 |
| 6 | 実習（1） | 中性浮力ダイブ | 予習：テキスト（中性浮力ダイブ）に目を通しておく。 |
| 7 | 学科（2） | 水中ナビゲーションについて | 予習：テキスト（水中ナビゲーション）に目を通しておく。 復習：水中ナビゲーションについて把握する。 |
| 8 | 実習（2） | 水中ナビゲーション | 予習：テキスト（水中ナビゲーション）に目を通しておく。 |
| 9 | 学科（3） | ボートダイブについて | 予習：テキスト（ボートダイブ）に目を通しておく。 復習：ボートダイブについて把握する。 |
| 10 | 実習（3） | ボートダイブ | 予習：テキスト（ボートダイブ）に目を通しておく。 |
| 11 | 学科（4） | ディープダイブについて | 予習：テキスト（ディープダイブ）に目を通しておく。 復習：ディープダイブについて把握する。 |
| 12 | 実習（4） | ディープダイブ | 予習：テキスト（ディープダイブ）に目を通しておく。 |
| 13 | 学科（5） | 水中ナチュラリストダイブについて | 予習：テキスト（水中ナチュラリストダイブ）に目を通しておく。 復習：水中ナチュラリストダイブについて把握する。 |
| 14 | 実習（5） | 水中ナチュラリストダイブ | 予習：テキスト（水中ナチュラリストダイブ）に目を通しておく。 |
| 15 | 実習（6） | ファンダイビング | 予習：ダイブするポイントについて調べる。 復習：ログブックをつける |